

令和5年度事業報告書

ヘルパーステーション カルミア
管理者 杉原 恵理

1. 事業目的

障がいのある方々に対して、この地域で安全に楽しく自分らしく在宅生活や社会参加が行えるようなニーズに沿った支援に関する事業を行い、地域に根付いた事業所を目指し、ノーマライゼーション社会に寄与することを目的とする。

2. 事業内容

- (1) 障がいの日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく福祉サービス事業
- (2) 地域生活支援事業

3. 事業の実績

- (1) 事業実施日 365日
- (2) 開所時間帯 事業所 平日 9:00～17:45
- (3) 受付時間帯 (サービス提供時間帯) 24時間
- (4) a 利用者数 令和5年3月31日

50名 (男性 32名 女性 18名)
※前年度と比較すると3名減になっています

b 市町村別

米子市	39名	境港市	7名	大山町	2名	南部町	1名
日南町	1名						

c 障がいの支援区分

区分なし (12名)	区分2 (3名)	区分3 (7名)
区分4 (7名)	区分5 (8名)	区分6 (13名)

※数字に上がらない方は児童、移動支援のみの利用

d サービス利用の状況

居宅介護	24名	(身体介護18名 通院6名 家事援助5名)
行動援護	16名	
重度訪問介護	2名	
移動支援	24名	

4. 職員

- (1) 管理者 (1名)
- (2) ヘルパー (専任 1名 兼務 8名) ※サービス提供責任者含む

5. まとめ

令和5年度は前年度と同様に、ご利用いただいている方が追加で支援日数を増やしてほしいという希望が多く、調整を行い対応しています。令和6年度は、障がい福祉に関わらず、米子市の委託事業である産後ヘルプ事業・トワイライト事業・子育て世帯訪問支援事業の3つを請け負い、障がい福祉のヘルパーで培った知識や経験を活かし、地域全体の困りごとに対して支援をしていきたいと考えています。

令和5年度 放課後等デイサービス フリージア 事業報告書

放課後等デイサービス フリージア
管理者 遠藤 佐央里

1. 事業目的

小学校1年生から高校3年生までの障がいのあるお子さんが、放課後や長期休みに利用する施設です。集団で生活・行動する事に慣れて、自分以外の人との関係性を築き、個々の成長に合わせて社会性の習得を目指します。また、身辺自立の力の向上、及びいろいろな事に挑戦して視野を広げて、自分で生きていく力をつける事を意識した支援を行なっています。

2. 事業内容

放課後等デイサービス

3. 事業の実績

(1) 令和5年度 事業実施日 285日

(2) 開所時間帯 平日 放課後～17時45分
土曜日・長期休み 9時～16時
振替休日 9時～16時

(3) 受付時間帯(サービス提供時間帯)

平日 放課後～17時45分
土曜日・長期休み 9時～16時
振替休日 9時～16時

(4) 利用者数

55名 (男性36名・女性19名)

市町村別

米子市42名 境港市7名 日吉津村2名
南部町1名 伯耆町3名

4. 職員

(1) 管理者 兼 児童発達支援管理責任者 (1名) 児童発達支援管理責任者 (1名)
(2) 支援員 (14名) 内訳 正職員1名 パート職員4名

5. まとめ

・令和5年度に取り組んだ実績

- ①荷物の管理や排泄・食事面などの場面での身辺自立トレーニング。
- ②集団活動を通して、他者を意識して行動すること及び協調性・挑戦する意欲を育てる。

- ③要求や拒否などの意思の表出を引き出す支援及び、項目ごとに順序立てて発信する練習。
- ④挨拶や場面に応じたコミュニケーション能力の向上にはたらきかけた支援。
- ⑤クッキング活動などを通して、食育や生きる力を育む。
- ⑥公共の場でのルールやマナーを学ぶ外出支援。
- ⑦屋外やサーキットでの運動遊びを通しての体力作り。
- ⑧毎日の宿題支援を通して、机上課題に慣れる。鉛筆の持ち方練習。集中力を養う支援。
- ⑨水害や火災・不審者対応の防災訓練。
- ⑩商品を自分で選択する力、お金の使い方に慣れる買い物支援。
- ⑪異年齢交流を通して他者へ関心を持ち、関わりを重ね、他者の気持ち・意見を受け入れる支援。
- ⑫製作活動にて、表現する力や手先の巧緻運動を図る。
- ⑬文字や数字・形を楽しく理解する活動（型はめ・影絵・プリント課題）。
- ⑭空間認識力を高める活動により、生活の中で身の安全を守ることが出来るようにする（ブロックやトランポリン・鬼ごっこなど）。鞆や引き出しの中に入れる量の理解を促す。
- ⑮役割を遂行する力を育てる。また、友だちと話し合う場面を作り、他者の意見を受け入れることを学ぶ。
- ⑯実際の生活に必要な家事能力の向上を目指す（洗濯ものを干す・たたむ・皿洗い・お湯の使い方など）
- ⑰時間の理解を促す支援。
- ⑱子ども同士で遊ぶ機会・経験を増やす支援。

・課題

- ・心のモヤモヤの解消の仕方に戸惑い、人を傷つけること、物にあたる、大声を出す等の注目行動。
- ・学校での人間関係が上手くいかず不登校気味になる。学習面の低下。
- ・自分より重度な障がいをもつ友だちへの理解。
- ・水分摂取・飲食の偏り。思いが通らないと物投げ・他害行動に発展する。「待つ」ことの困難さ。
- ・パーソナルスペースの教え方や、男女間の距離の取り方。
- ・生理の問題や、性についてどう関わっていくのか。
- ・人数が増え、外出支援が難しくなっている。
- ・大人数や、がやがやした環境が苦手な子どもの過ごし方。
- ・学校と連携することの難しさ。支援の統一ができず、不適切な行動を防止することが難しい。

・来年度、どのような事業にしていくのか。

令和年6年2月から日中一時と合同の活動体勢に変更。土曜日はオーリーブとも合同に変更。全てのクラスの職員が、全体を把握し支援を行なっている。子ども同士の遊びが増え、余暇の過ごし方に変化が見られるようになった。ご利用者様それぞれがご自分で考え、行動できる力を育てるとともに友だちに関心を持ち、他者と適切な距離感で過ごせるようになってほしい。

今後は地域交流の幅を広げ、ご利用者様の視野が広がるよう支援していきたい。

保護者の方や関係機関と情報交換を行ない、利用者様が大人数の中でも安心して過ごせる居場所を作っていきたい。

令和5年度 日中一時サービス 事業報告書

放課後等デイサービス フリージア
管理者 遠藤 佐央里

1. 事業目的

0歳から小学校就学前までの障がいのあるお子さんが利用する施設です。

保護者様のレスパイト支援でお預かりするだけでなく、異年齢の集団で生活・行動する事に慣れて、自分以外の人との関係性を築き、個々の成長に合わせて社会性の習得を目指します。

2. 事業内容

日中一時サービス

3. 事業の実績

(1) 令和5年度 事業実施日 291日

(2) 開所時間帯 平日 10時～17時45分
土曜日 10時～16時

(3) 受付時間帯(サービス提供時間帯)

平日 10時～17時45分
土曜日 10時～16時

(4) 利用者数

9名 (男性6名・女性3名)

市町村別

米子市7名 境港市2名 日吉津村1名
南部町なし 伯耆町なし

4. 職員

(1) 管理者 (1名) 児童発達支援管理責任者 (1名)

(2) 支援員(兼務) (1～3名)

5. まとめ

・令和5年度に取り組んだ実績

- ①荷物の管理や排泄・食事面などの場面での身辺自立トレーニング。
- ②集団活動を通して、楽しみながら挑戦する意欲を育てる。
- ③要求や拒否などの意思の表出を引き出す支援。
- ④挨拶や場面に応じたコミュニケーション力の向上にはたらきかけた支援。
- ⑤クッキング活動などを通して、食育や生きる力を育む。
- ⑥公共の場でのルールやマナーを学ぶ外出支援。
- ⑦屋外での運動遊びを通しての体力作り。
- ⑧製作活動にて、手先の巧緻運動を図る。鉛筆の持ち方練習。
- ⑨水害や火災・不審者対応の防災訓練。
- ⑩順番が来るまで待つことができる。
- ⑪友だちとのやり取りを重ねながら人間関係を構築する支援。

・課題

- ・言葉の数が少ないため、自分の思いを伝えられず手が出てしまうことがある。時間をかけて分かりやすい方法で伝えられるようにしていかなければならない。
- ・体のバランス力や危険認識力が弱いと、ケガをする確率が高くなってしまふ。
- ・痛みや辛さに鈍いお子さんや、上手く伝えられないお子さんがいるので、いつもの様子をしっかりと把握しておく必要がある。言葉や表情だけで判断しないようにし、熟練した観察力が求められる。
- ・口腔の感触欲求などにより、食べ物以外のものを口に含む・噛む・入れる行為の対策と予防。

・来年度、どのような事業にしていけるのか。

令和6年1月から段階的に放デイと一緒に過ごす時間を増やし、2月から完全に一緒に活動を行なっています。放デイの利用者様と一緒に過ごすことで、集団での過ごし方に慣れ、いろいろな性格の方と関わる機会になっていると思う。他者と関わりが増えることで、遊びの幅や興味の幅が広がるきっかけとなるよう意識して支援していきたい。

また次年度に就学される方も日中一時サービスから放デイへのサービスは移行するが、過ごす環境が変わることがないので安心して過ごしておられる様子が見られる。日中一時から一貫して個々の成長に関われるので、ぶれる事のない統一した支援ができるようにしていきたい。

令和5年度カモミール事業報告書

子ども相談支援センター カモミール
伊勢 千里

1. 事業目的

計画相談支援（障がい児支援利用計画）は、ご利用者様が学校や幼稚園・保育園等を通して、日常生活や通学・通園などで本人の強みを伸ばし、潜在的に持っている力を引き出し発揮していく支援を行います。保健・医療・福祉施設や市町村をはじめとして、保育園や幼稚園・学校など周辺機関と連携をとり、本人やご家族の歩みに寄り添った支援を行います。

2. 事業内容

計画相談支援、障がい児相談支援、アウトリーチ事業、子ども見守り支援事業

3. 事業の実績

- (1) 令和5年度 事業実施日 277日
- (2) 開所時間帯 平日 9:00～18:30 土曜日 8:15～17:00
- (3) 受付時間帯 平日 9:00～17:45 土曜日 9:00～16:00
- (4) a 利用者数 令和5年3月までの連絡会への提出件数…204名
男性 137名 女性 67名
b 市町村別 米子市 167名 境港市 10名 日吉津村 6名
伯耆町 14名 南部町 3名 大山町 4名
c サービス利用の状況
計画相談支援（サービス内容）6名 障がい児相談支援 198名
- (5) アウトリーチ事業 3件
合計20回の訪問
- (6) 子ども見守り支援事業 ぱれっとでの不定期子ども食堂
2回（2023年9月23日、12月17日）

4. 職員

- (1) 管理者 （1名）
- (2) 相談支援専門員 （2名）

5. まとめ

令和年度に取り組んだ実績：

計画相談は岩田さんに新規の方を取っていただき、伊勢は兄弟児のみ新規を受け付けた状態でした。ただまだ伊勢の担当が 167 件のためしばらく新規を取る予定はありません。また、トータルの件数が 200 件を超えているのでこれ以上にはならないよう微調整はしていかないとはいけません。4 月以降が転居や更新しない方がいるため 5 件減になっています。

アウトリーチは 3 件伊勢が担当していますが、1 件は訪問をいったん中止している状態です。岩田さんにはアウトリーチの研修を受けていただいたので今後「えしこに」から依頼があれば担当してもらう予定です。関わり方はケースによって試行錯誤ですが、子どもの相談支援とは別の領域の情報も必要になってくるので、調べながら生活面での不安を解消できるよう動いています。

子ども食堂は不定期で 9 月と 12 月に 2 回開催しました。仕事ではない日にボランティアで皆さんにご協力いただきありがとうございます。今度は 8 月に開催できたらと考えています。

年度末から米子市が主催している「米子市教育と福祉の連携にかかわる連絡会」に参加し、今後の市と学校と福祉の連携の取り方を話し合っています。これまで国から通達されていた連携が自治体によって捉え方が違うことで曖昧なままそれぞれで子どもの支援をしている状態でしたが、正しい情報を知って必要な時に協力できて風通しがよくなるようになればと思い参加しています。

課題： 伊勢の担当件数が多いこともあり、モニタリングが十分にできない月もありました。岩田さんに精力的に新規を受けて下さっていますが、200 件を超えることもできないので十分に担当していただけない現状もありました。4 月から報酬改定がありましたが、加算を取れるところは取りながら、契約している方の支援を充実させられるようにできればと思います。伊勢も受けられる研修を受けて基本報酬をあげられるようにと考えています。

アウトリーチに関しては引きこもりや働いたことがない方の支援に月に 1 回入っていますが、当人の気持ちを反映させられないなかで保護者の意向が中心になってしまいうところに支援の難しさを感じています。正解も終わりも見えない不安を抱えておられるので、今できることを地道に提案しながら関わられたらと思っています。

子ども食堂は月に 1 回は開催したいのですが…、現状まだ体制を作れずにいます。皆さんの意見も聞きながら、形を作っていけたらと思います。

令和5年度 green works 事業報告書

green works

管理者 岩本孝治

1. 事業目的

利用者一人一人の個性や主体性を尊重し、自己決定を基本とした支援を心掛ける。
作業を通じて社会的な自立に向けた様々な力を身に付けて頂く。

2. 事業概要

・就労継続支援B型

3. 事業の実績

- (1) 令和5年度 事業実施日 270日
- (2) 開所時間帯 事務所 平日 9:00~16:00
- (3) 受付時間帯 (サービス提供時間帯)
月~土曜日 9:00-15:30

(4) a 利用者数

12名 男性 12名 女性 0名

B市町村別

米子市 11名 境港市 1名

4. 職員

管理者 (1名) サービス管理責任者 (1名)

支援員 (3名)

5. まとめ

本年度も引き続き利用者様が社会人としての必要なスキルを身に付ける為、利用者様がご自身で目標を見つけ、課題を明確にし、個人目標を設定して、それに向けて行動して頂けるよう支援する。

目標の振り返りを適宜行うことで、現在の課題を常に意識しながら作業に取り組む姿勢を養って頂き、皆と振り返りを行うことで他の利用者様の目標も意識し、共有して頂く。

令和5年度 日中一時支援事業報告書

日中一時支援

管理者 岩本 孝治

1. 事業目的

利用者一人一人の個性や主体性を尊重し、自己決定を基本とした支援を心掛ける。
活動を通じて身辺自立に向けた様々な力を身に付けて頂く

2. 事業内容

日中一時支援

3. 事業の実績

- (1) 令和5年度 事業実施日 270日
- (2) 開所時間帯 事務所 平日 15:30～17:45
- (3) 受付時間帯 (サービス提供時間帯)
月～土曜日 15:30～17:45
- (4) a 利用者数
12名 男性 10名 女性 2名
b 市町村別
米子市 12名

4. 職員

管理者 (1 名) サービス管理責任者 (1 名)
支援員 (3 名)

5. まとめ

- ・作業後の活動の為、疲労があり負担が多かった。来年度は運動、ストレッチ、体操等、身体機能の向上とともに、身体のケア、健康管理に力を入れていく。

令和5年度事業報告書 ポトス（共同生活援助）

管理者 岩本 孝治

1. 事業目的

ご利用者が自立した地域生活を送ることができるようその方の状況や環境に合わせて様々な支援を行います。

ご利用者の意思及び人格を尊重して、利用者の立場に立ったサービス提供に努めます。

地域との結びつきを大切にし、ご利用者の生活を支える人たちとの連携に努めます。

2. 事業内容

- (1) 共同生活援助支援事業

3. 事業の実績

- (1) 事業実施日 令和5年4月～令和6年3月

- (2) 開所時間帯 18:00～翌9:00

- (3) 受付時間帯 9:00～17:45

- (4) 利用者数合計

共同生活援助 定員 4名 男性 4名

女性利用不可 ※男性専用施設の為

4. 職員

- (1) 管理者 (1名) サービス管理責任者 (1名)

- (2) 支援員 (6名)

5. まとめ

今年度は余暇の充実に入力していきたい。私生活の充実により、仕事がかどり、仕事が上手くいくことによって、私生活も楽しく過ごし相乗効果を高めて頂く。

仕事で得た工賃の使い道を本人様主体で管理し、私生活でも目標を決め、休日の予定を今以上に充実させる。仕事と私生活を互いに刺激し合い、良い影響を与え合い好循環を行う。

令和5年度ショートステイタイム事業報告書

ショートステイタイム

主任 田邊 なつみ

1. 事業目的

地域において必要な事業所として位置づけられ、利用時とその家族の緊急時の支援を主たる目的とするとともに、レスパイトだけでなく、体験の場でもあり本人・家族が安心して利用ができるように、利用時の状況に応じ、入浴や排泄、食事の支援を適切に行う。

障がいのある人の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）として、障がいのある人の生活を地域全体で支える体制を、地域の実情に応じて整備することを目指します。

18歳未満が主な対象。

2. 事業内容

(1) 短期入所支援事業

(2) 地域生活支援拠点事業 緊急時の受け入れ(米子市委託事業)

3. 事業の実績

(1) 事業実施日 令和5年3月～令和6年3月

(2) 開所時間帯 18:00～翌9:00

(3) 受付時間帯 9:00～17:45

(4) 利用者数

29名 男性 17名 女性 12名

市町村別

米子市 17名 境港市 6名 日吉津村 1名 南部町 1名

大山町 2名 松江市 1名 安来 1名

4. 職員

(1) 管理者 (1名) サービス管理責任者 (1名)

(2) 支援員 (15名)

5. まとめ

○令和5年度に取り組んだ実績

- ・受け入れを前年度より多く行なうことができた
- ・荷物確認や管理、入浴、食事づくりや食器洗いなどの身辺自立トレーニング
- ・余暇時間の過ごし方の見直し(工作活動を導入し手先の巧緻性向上を目指す)
- ・異年齢で関わりコミュニケーションを重ねながら人間関係を構築する支援
- ・事前予告、スケジュールや絵カードを作成し場面に応じたコミュニケーション力の向上
- ・窓からの物落とし防止のためのブザー設置
- ・てんかん時対応シートの作成

○課題

- ・職員間での情報共有
- ・水分摂取、トイレ誘導
- ・不安感による暴言、窓からの物落としの改善、対応
- ・男女間の距離感
- ・忘れ物防止

○来年度どのような事業にしていくか

ひとりひとりの特性をより細かく把握する。

前年度の課題を職員間で改善していきながら利用者様ひとりひとりの特性に合った支援を行なう。

利用者様の生活能力の向上を目指す。

引き続き、食器洗い、配膳下膳、洗濯、着脱、食事づくり、お風呂の使い方などに挑戦していただきながら積極的に取り入れて行く。

保護者様、利用者様が安心安全に楽しく過ごしていただけるように全力で向き合っていける事業所を目指す。

令和5年度 児童発達支援事業所 オリーブグリーン 事業報告書

児童発達支援事業所 オリーブグリーン

管理者 遠藤 佐央里

1. 事業目的

発達のうちで気になる子ども達が、必要な時に必要な支援を受けることができるように専門職による療育の場の提供を行い、子ども達が自信を持って自らの意思で行動できることを目標に支援を行います。

子ども達の興味・関心を大切にしながら、様々な力を伸ばしていけるようにはたらきかけ、集団生活に必要なスキルの習得を目指しています。

2. 事業内容

児童発達支援

3. 事業の実績

- | | | |
|----------------------|--------|--------|
| (1) 令和5年度 | 事業実施日 | 291日 |
| (2) 開所時間帯 | 平日・土曜日 | 9時～15時 |
| (3) 受付時間帯(サービス提供時間帯) | 平日・土曜日 | 9時～15時 |

(4) 利用者数

13名(男性10名・女性3名)

市町村別

米子市	12名	境港市	1名	日吉津村	なし
南部町	なし	伯耆町	なし		

4. 職員

- | | | | |
|-----------------------|------|-------|------|
| (1) 管理者 兼 児童発達支援管理責任者 | (1名) | 言語聴覚士 | (1名) |
| (2) 支援員 | (3名) | | |

5. 令和5年度に取り組んだ実績

- ① 食事・排泄・着替え・整容・荷物の管理・片付けなどの身辺自立の為のトレーニング
- ② バランス能力を高めたり、障害物を認識して安全に行動したり、体幹を強化して安定した姿勢をとれることを目的とした運動遊び
- ③ 制作活動や机上課題を通して手指の巧緻性や集中力を高め、道具の操作を学習する練習
- ④ 着席し、集中して活動に取り組むための練習
- ⑤ 物の共有、順番を守る、挨拶、お礼など集団生活に必要なルールを習得する練習
- ⑥ 絵カードや写真などのスケジュールの視覚支援を行い、生活の流れの見通しが持てることで、行動の

取り組みや切り替えがスムーズにできる為の支援

- ⑦ 指さし、身振り、発声、発語、写真、絵カードなど様々な手段を用いて理解や意志表出を促す練習
- ⑧ 感覚遊びや玩具での遊び、制作、運動など様々な活動を通して、興味関心を広げ、意欲を育てる為の支援
- ⑨ 小集団での活動を通して、他者を意識しながら楽しく活動を共有する為の支援
- ⑩ 食に関する知識の習得や興味関心を高める為の園芸活動（さつまいも作り）、調理活動
- ⑪ 公共の場でのルールを学び、適切なマナーを学んだり、体力向上を目指したり、興味関心を広げる為の屋外活動・遠足
- ⑫ 保護者との情報共有、オリーブグリーンでの生活の様子、活動の成果を伝える為の保護者参観日
- ⑬ 放課後等デイサービスとの異年齢交流の中で、様々な年代の人々との関わり方や、集団の中で過ごすことに慣れるなどの社会性を学ぶ支援。
- ⑭ 良善幼稚園との交流保育（幼稚園へ訪問1回、オリーブグリーンに来所1回）

6.課題

・バランス能力や運動発達の未熟さ、不注意、多動などの特性や危険認識の未熟さなどにより転倒して怪我をすることがあった。

・こだわりや自我が出はじめ、食へのこだわりから給食指導が難しくなった。保護者と情報を共有しながら、

成長に必要な栄養を取り入れる方法を促していきたい。

- ・職員間での支援の振り返りや情報共有、支援内容の検討をする時間を十分に設定する事が難しかった。
- ・月～金曜日の利用されていた利用者が年長になるに伴って幼稚園に完全移行される方、来年度就学される方がおられ、来年度に向けて新規の利用者の確保などが今後重要になることが考えられる。
- ・今後の利用者の傾向として、他の施設を利用されている方が併用で月に一度の利用、週に1～2日利用の子ども等の利用スタイルが増えてくることが予測されるため、日々の活動の内容などについてオリーブグリーンとしてどうしていくか等の検討が必要になってくることが考えられる。

7.今年度どのような事業にしていくのか

音楽療法など、これまで行っていない活動にも挑戦し、様々な経験から興味関心の拡大を図り、楽しく意欲的に多くの事を学習できるように活動を実施していきたい。

発達のアセスメントシートの活用や普段の利用者様の様子を丁寧に観察しながら、利用者様一人一人の特性や発達段階を把握し、適した支援を検討・実施していく。職員間での話し合いの機会を増やし、支援の目的を共有し、一貫性のある支援を行っていく。

清潔を保つ、誤飲や転倒の恐れがある物など危険な物を排除する、緩衝材や耐震道具を使用する、静的活動と動的活動のスペースを明確に区切るなどの環境整備を行い、安全に過ごしていただけるように配慮する。

オリーブグリーンを主体として利用されている利用者が来年就学されることに伴って、就学支援など一米子市、ひなた、ご両親と連携をとっていきながら適切なサポートを行えるよう支援していく。

地域交流を意識し、様々なイベントや、ボランティア活動・幼稚園や保育所、他事業所との交流活動など実施していきたい。

令和5年度 ホップ 事業報告書

ホップ

管理者 岩本孝治

1. 事業目的

一般就労、A型、B型作業所をご利用されることが難しい、でも将来就労したいという希望の方が対象で、午前は就労のための訓練を行い、午後は創作、アート活動に取り組んで頂く。

訓練を通じて決まった時間継続して作業を行える気力・体力を養い、反復して作業を行うことで正確な作業を身につけて頂く。その作業成果を工賃という形でお渡しする。創作、アート活動では、自己表現の場として、自分の感情を反映させた作品を作り、新しい自分、新しい誰かと出会い、社会と繋がりを持って頂く。

2. 事業概要

・生活介護（職業訓練型）

3. 事業の実績

- (1) 令和3年度 事業実施日 240日
- (2) 開所時間帯 事務所 平日 9:00～16:00
- (3) 受付時間帯 (サービス提供時間帯)
月～土曜日 9:00-15:30
- (4) a 利用者数
4名 男性 1名 女性 3名
b 市町村別
米子市 4名

4. 職員

管理者 (1名) サービス管理責任者 (1名)
支援員 (3名)

5. まとめ

・リサイクル活動やパンの訪問販売等、活動の幅が広がり、外での交流の場面が増えたが、全体的に室内活動が多かった。来年度は引き続き視野を広げる活動を行うとともに、体力向上や体重増加予防を取り入れた活動を今以上に取り入れる。

第9期

財務諸表

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日

特定非営利活動法人 e v e r g r e e n

理事長 川添 北斗

活動計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 ever green

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取助成金等			
受取地方公共団体助成金	1,134,000		
受取地方公共団体補助金	537,500	1,671,500	
2. 事業収益			
介護給付費収益	21,128,810		
利用者負担金収益	3,859,238		
受託事業収益	47,341,388		
障害児通所給付費収益	37,870,912		
訓練等給付費収益	13,864,390		
利用計画作成費収益	3,621,900		
農業収益(就労)	324,872		
受託収益(就労)	12,300		
商品販売収益(就労)	109,626		
カフェ収益	5,201,835	133,335,271	
3. その他収益			
受取利息	191		
雑収益	774,959	775,150	
経常収益計			135,781,921
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	79,379,772		
法定福利費	12,153,250		
退職給付費用	275,840		
通勤費	1,758,295		
福利厚生費	92,735		
人件費計	93,659,892		
(2) その他経費			
期首棚卸高	486,332		
仕入高	257,810		
材料費	4,105,121		
農薬・肥料費	15,906		
農業雑費	2,324		
合計	4,867,493		
期末棚卸高	△ 1,024,141		
売上原価	3,843,352		
業務委託費	7,560,923		
旅費交通費	82,700		
車両費	5,139,439		
通信運搬費	2,283,501		
消耗器具備品費	1,209,534		
事務消耗品費	185,330		
修繕費	691,351		
水道光熱費	3,764,749		
地代家賃	1,541,200		
賃借料	6,600		
減価償却費	12,047,602		
保険料	1,691,746		
諸会費	35,650		
租税公課	65,376		

科 目		金 額	
研修費	22,000		
リース料	11,410,435		
支払手数料	263,262		
支払寄附金	110,000		
支払利息	5,448,667		
接待交際費	53,556		
利用者工賃	3,254,720		
教養娯楽費	155,524		
給食費	1,141,137		
保健衛生費	238,779		
雑費	928,750		
その他経費計	63,175,883		
事業費計		156,835,775	
2. 管理費			
(1) その他経費			
租税公課	1,671,700		
寄附金	462,569,672		
その他経費計	464,241,372		
管理費計		464,241,372	
経常費用計			621,077,147
当期経常増減額			△ 485,295,226
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 485,295,226
法人税、住民税及び事業税			81,000
当期正味財産増減額			△ 485,376,226
前期繰越正味財産額			153,251,348
次期繰越正味財産額			△ 332,124,878

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 ever green
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	6,617,832	
未収金	119,497	
棚卸資産	1,024,141	
立替金	199,782	
流動資産合計		7,961,252
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	2,918,964	
車両運搬具	2	
什器備品	3,048,771	
有形固定資産計	5,967,737	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金	46,000	
長期前払費用	7,729,408	
電話加入権	44,000	
リサイクル預託金	9,200	
投資その他の資産計	7,828,608	
固定資産合計		13,796,345
資産合計		21,757,597
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	108,541	
未払金	176,258	
預り金	1,070,476	
流動負債合計		1,355,275
2. 固定負債		
長期借入金	346,564,000	
長期未払金	4,963,200	
役員借入金	1,000,000	
固定負債合計		352,527,200
負債合計		353,882,475
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		153,251,348
当期正味財産増減額	△	485,376,226
正味財産合計		△ 332,124,878
負債及び正味財産合計		21,757,597

財 産 目 録

令和 6年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 ever green
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,617,832		
未収金	119,497		
棚卸資産	1,024,141		
立替金	199,782		
流動資産合計		7,961,252	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	2,918,964		
車両運搬具	2		
什器備品	3,048,771		
有形固定資産計	5,967,737		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	46,000		
長期前払費用	7,729,408		
電話加入権	44,000		
リサイクル預託金	9,200		
投資その他の資産計	7,828,608		
固定資産合計		13,796,345	
資産合計			21,757,597
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	108,541		
未払金	176,258		
預り金	1,070,476		
流動負債合計		1,355,275	
2. 固定負債			
長期借入金	346,564,000		
長期未払金	4,963,200		
役員借入金	1,000,000		
固定負債合計		352,527,200	
負債合計			353,882,475
正味財産			△ 332,124,878

事業別活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 ever Green (単位：円)

科目	ever green	Palette Farmer's	ヘルパーステーション カルミア	放風機サービス フリージア	子ども出迎センター オアシス	Green works 日型		計	グループホーム ポトス	ショートステイ タイム	オリーブグリーン	生活介護 ホップ	本部	共通	合計	
						サービス	役員補給支度 日型									
租税公課	62,950	0	0	0	0	2,400	0	2,400	0	0	0	0	0	0	0	65,376
研修費	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	22,000
リース料	3,955,461	15,000	322,271	3,376,591	1,000	483,406	206,897	696,405	99,544	16,835	206,122	721,734	0	0	0	1,110,435
支払手数料	187,108	31,503	0	20,459	267,954	7,956	2,376	10,312	3,899	659	4,082	2,392	0	0	0	263,262
支払寄附金	110,000	0	0	0	10,228	0	0	10,228	0	0	0	0	0	0	0	110,000
支払利息	5,214,095	13,161	50,982	82,633	9,585	24,055	9,598	33,654	15,747	2,662	16,487	9,661	0	0	0	5,448,667
旅行交際費	53,556	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,556
利用者工賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	2,057	107	1,468	97,169	1,764	878	78	3,247,460	1,395	2,102	34,813	7,240	0	0	0	3,254,720
給付金	540,330	0	0	2,178	0	0	0	5,481	196,959	33,646	0	13,702	0	0	0	1,141,137
保険料	156,700	0	0	5,481	0	0	0	5,481	93	17	0	0	0	0	0	156,524
経費	488,095	170,194	20,300	3,420	200	35,580	0	35,580	1,648,354	1,189,729	1,572,640	1,778,183	0	0	0	928,750
その他経費計	25,429,747	3,108,522	2,012,732	10,668,199	832,749	2,402,102	3,653,402	6,055,187	7,033,012	2,227,108	9,251,709	5,357,834	0	0	0	59,322,531
事業費計	43,911,165	13,953,168	19,801,233	32,353,265	4,237,872	10,029,331	3,699,788	13,729,129	17,033,012	2,227,108	2,693,469	1,504,944	0	0	0	156,835,775
2. 管理費																
(1) その他経費	1,671,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,671,700
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	1,671,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,671,700
管理費計	1,671,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,671,700
経常費用計	45,582,866	13,953,168	19,801,233	32,353,265	4,237,872	10,029,331	3,699,788	13,729,129	17,033,012	2,227,108	2,693,469	1,504,944	0	0	0	62,171,147
当期経常増減額	△ 3,680,236	△ 8,674,583	△ 450,654	935,325	△ 294,722	△ 333,291	△ 333,291	△ 333,291	△ 790,592	△ 1,169,708	△ 2,693,469	△ 1,504,944	△ 482,569,672	△ 4,970,288	△ 485,295,226	
III 経常外収益																
1. 固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 経常外費用																
1. 固定資産減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	△ 3,680,236	△ 8,674,583	△ 450,654	935,325	△ 294,722	△ 333,291	△ 333,291	△ 333,291	△ 790,592	△ 1,169,708	△ 2,693,469	△ 1,504,944	△ 482,569,672	△ 4,970,288	△ 485,295,226	
法人税、住民税及び市県民税	81,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81,000
当期正味財産増減額	△ 3,761,236	△ 8,674,583	△ 450,654	935,325	△ 294,722	△ 333,291	△ 333,291	△ 333,291	△ 790,592	△ 1,169,708	△ 2,693,469	△ 1,504,944	△ 482,569,672	△ 4,970,288	△ 485,376,226	
前期繰越正味財産額	198,739,576	9,920,581	72,931,313	△ 4,121,367	△ 636,184	△ 45,804,833	△ 4,179,282	△ 49,984,115	△ 2,431,031	△ 3,190,322	△ 13,075,498	△ 7,425,836	△ 242,730	△ 27,432,877	153,251,348	
次期繰越正味財産額	194,978,340	△ 18,595,164	73,381,937	△ 3,186,042	△ 930,905	△ 46,138,124	△ 4,179,282	△ 50,317,405	△ 3,221,623	△ 4,319,030	△ 15,768,957	△ 8,930,890	△ 482,819,402	△ 32,403,195	△ 332,124,876	

(様式例)

前事業年度の年間役員名簿

特定非営利活動法人 ever green

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた 期間
理事長	川添 北斗		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	無
副理事長	杉原 恵理		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	無
理事	岩本 孝治		令和5年5月28日 ～ 令和6年3月31日	無
監事	遠藤 崇人		令和5年5月28日 ～ 令和6年3月31日	無

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人 ever green

氏 名	住 所 又 は 居 所
川添 北斗	
杉原 恵理	
岩本 孝治	
遠藤 崇人	
牧岡 英治	
日下 直美	
加藤 好美	
川添 恵	
岩井 直	
足羽 千春	

